

新市民会館の整備事業のいま

昭

和43年（1968年）に開館した市民会館が老朽化のため、令和2年3月末に閉館し、およそ1年がたちました。

昭和43年（1968年）に開館した市民会館が老朽化のため、令和2年3月末に閉館し、およそ1年がたちました。

昭和43年（1968年）に開館した市民会館が老朽化のため、令和2年3月末に閉館し、およそ1年がたちました。

昭和43年（1968年）に開館した市民会館が老朽化のため、令和2年3月末に閉館し、およそ1年がたちました。

昭和43年（1968年）に開館した市民会館が老朽化のため、令和2年3月末に閉館し、およそ1年がたちました。

人口減少、老朽化する公共施設。施設機能の集約へ

現在、市内の公共施設の半数以上（53%）が築30年以上を経過しています。すべてを修繕した場合、今後40年間で1181億円かかるという試算が出ています。しかし30年後、市の人口は44%減少し4万人台へ。そのため、現状

の規模のまま公共施設を維持するのは困難です。

そこで、今回の調査では市民会館と、その他施設の複合化の可能性を探っています。

今号では、夏（広報いしおか8月1日号掲載）以降の事業の進捗をご紹介します。

「持続可能な地域」であるために必要な文化施設を

建設候補地は、市所有の2か所（下枠参照）。建設費や建設手法のほか、交通アクセスや立地特性などの観点から結論を出していきます。

複合化を検討している施設は10施設以上。図書館のほか、老朽化したり、機能が類似していたりする施設です。

旧市民会館には968席のホールがあったため、新たな施設にも文化ホール機能を軸に、子どもたちを中心に多世代が日常的に利用できる機能を重視しています。

建設候補地は、「駅東」と「いしおかイベント広場」の2つ

石岡市ではコンパクトかつネットワーク型のまちづくりを目指し、都市機能を誘導する区域を設定しています。文化施設は石岡市街地に設定しており、候補地は石岡市街地の中の公有地からピックアップしています。

駅東

- 対象面積：約7,700㎡
- 用途地域：商業地域
- アクセス：石岡駅から約50m
- 地質等：一部液状化の判定を受ける土質で、地盤改良が必要。



いしおかイベント広場

- 対象面積：約27,000㎡
- 用途地域：第1種住居地域
- アクセス：石岡駅から約800m
- 地質等：常陸国分寺跡が近接。発掘調査の結果によって事業費や期間に大きな影響がある。



検討中の施設機能

図書館・児童館・石岡保健センター・杉並コミュニティセンター・地区公民館など（今後、変更になる場合があります）

※民間事業者からの意見や提案を聞くサウンディング調査などを進め、令和2・3年度で報告書をまとめたのち、パブリックコメントを経て、令和4年度にかけて最終とりまとめを行っていく予定です。

市所有のドローンで撮影しました



暮らしを豊かにする文化施設をテーマに、
石岡未来会議オンライン開催（令和2年11月～12月）



ありたいまちの姿を話し合う
オンライン対話の場を開催

リアルで会えないなら、オンラインで話そう



協働のまちづくり推進事業の一環として、市内在住のファシリテーター2名の進行のもと、全4回で行いました。会議の動画などを市ホームページに公開しています。

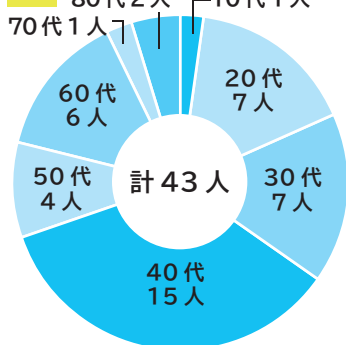


参加者の感想

- 石岡市は、おまつりはもちろん果物やお酒などいろいろなものがあって、魅力がたくさんあると気付いた（10代）
- これからの石岡を考えている熱い方々と知り合えた（30代）
- 移動に時間が取られず自宅から参加できるのがよかった（60代）
- 沢山意見が出ていた。意見を言いやすい感じがした（50代）
- まちそのもののイメージは変わりませんが、暮らしている人の変化、多様性を知り、街の質的变化が生まれているのではと感じた（80代）

- ▼新たな文化施設に求める機能と運営に関して話し合う石岡未来会議を開催しました。ここで出された意見は、文化施設整備事業に反映していきます。
- 石岡未来会議が目指すもの
 - ①市民と行政が、同じ情報を共有し、垣根を越えて対話をする
 - ②対話を重ね市民と行政の信頼関係を築く
- 出された意見（ごくごく一部抜粋）
施設に求めるもの 目的なく立ち寄り、多世代交流ができる施設
- 運営に求めるもの 石岡の文化を把握し、人と人をつなげることができ、人材がスタッフとして配置されている施設

10代～80代の43人が参加



過去にも複合文化施設に関する議論（2002年・神楽跡地を考えるワークショップ）があり、そこでは市民参加という息吹が吹き込まれた「ひとつの施設」という結論が出されました。これは今回の結果とも重なるもので、市民参加によって人が育つ場づくりは、長年の石岡市の課題です。そこで、市では平成27年に「協働のまちづくり条例」を施行し、市民と行政の協働を進めています。